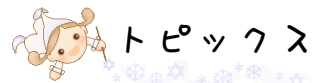


# 総合周産期母子医療センターだより

平成 28 年 1 月号

2016 年 1 月 15 日発行 (No.121)  
 山口県立総合医療センター  
 〒747-8511 山口県防府市大字大崎 77 番地  
<http://www.ymghp.jp>  
 tel:0835-22-4411 (代表)



## 総合周産期母子医療センター開設10周年を迎えて



明けましておめでとうございます。総合周産期母子医療センターが開設されて、満 10 年が経ちました。開所式の日には雪の降る寒い日でしたが、今年は暖冬になりました。順風満帆とは行きませんでした、10 年という年月に渡り周産期センターとして存続することができました。これも当院を利用して頂いた妊婦さんや支えて頂いた多くの医療関係者のおかげと感謝しております。

さて、昨年はいろいろなテレビドラマがヒットしました。中でも日本の技術力の裾野の広さを示した「下町ロケット」と並び、産科医療の現場を扱った「コウノドリ」はよく出来たドラマでした。原作となった漫画も含めて、産婦人科医が見ても違和感のない、むしろ若い産婦人科医に見ることを勧めたくなる作品です。胎児や新生児の救命の場面も多いのですが、鴻鳥先生と対比される四宮先生のベースに示されている母体救命の難しさを表現した内容に特徴があるように思います。胎児と新生児の死亡率を合わせた周産期死亡率は年々低下して、2014 年には 3.7 (人/1,000 出生当たり) となりました。妊娠 22 週以降まで母体内で生存できた赤ちゃんの 99.6% が生後 1 週間以上生きて行けること (亡くなる大部分の赤ちゃんは生後 1 週間以内に亡くなります) を示しています。一方、母体の死亡率も減少していますが、無くなってはいません。現在でも、毎年 40 人前後の妊婦さんが妊娠により亡くなっています。さらに 250 人に 1 人 (4,000 人/年) は、死の一手前で救命されているというデータもあります。母体死亡の最も大きな原因は出血です。「コウノドリ」にもしばしば登場しますが、お産は出血との戦いです。全国的な傾向ではありますが、山口県でも分娩後の母体搬送が増加しています。やはり搬送理由の多くは、分娩時あるいは産後の多量出血です。高年妊娠や今まで子どもを望めなかった病気をもった女性が妊娠可能になったこと、そして既往帝王切開後妊娠の増加などが関与しています。医療が進歩したことにより子どもを授かることができるようになった一方で、妊娠することによる生命への危険も高くなっています。今も昔も「お産」は



お母さんにとって赤ちゃんにとって命がけです。

今年も妊婦さんと赤ちゃんに安全な妊娠・出産とよい新生児医療を提供して行ける様に頑張っていきたいと思っております。

本年もよろしくお願い致します。

総合周産期母子医療センター長 佐世 正勝



## 「おぎゃー!!」 in 助産院 Sun

助産院でお産ができる方は、  
 ※妊娠経過が正常な経産婦さんで、医師より助産院でのお産が可能と言われた方  
 ※ご本人とご家族が、助産院でのお産を希望されている方  
 ※当病院の産科外来を受診されている方です。



院内助産院でお産をされたお母さんにお話を伺いました。今号は昨年の 10 月に出産された 木村 良子 さんです。



### 現在の心境は？

今回のお産が一番不安でした。『3 人目だから大丈夫よ〜』と周りから言われてましたが私としてはとてもとても不安でたまりませんでした。でもそんな心配はなかったです (笑) 予定日より 4 日遅れて産まれましたが、出血も少なく、分娩時間も思っていたより早くあつという間に産まれた感じでした!!!



### 「2 人目に続いて 3 人目も助産院で出産しよう!」と思われた理由は？

お産の際に子ども達も一緒に立ち会えて、とてもアットホームな雰囲気でお産することが出来たので、3 人目も絶対助産院で産みたいと思いました。あと助産師さんがみなさん親切で、とても入院中過ごしやすかったという印象が残っていたからです!!



### 「いざ、お産!」から過ごされてみてどうでしたか？

陣痛がきたら助産師さんが優しく腰をさすってくれることのでき安心できました。お産の立ち会いに主人と娘が側にいてくれたこともすごく心強かったです。

娘は、「絶対に産まれるまで起きておく〜」と言って、眠たい中ずっと私の手をにぎってくれていました。そんな娘のがんばりのおかげでかお産もい陣痛がきて、娘が起きている間に産まれてきてくれました。産まれた瞬間、娘が「かわいい〜♡」と言っていたのが印象的です!!!



### ご家族の反応は？

長女は立ち会いしたいと言って眠たい中ずっと起きて、主人と一緒に私の手をにぎったりしてくれました!! 息子は家で寝ていました。



長女は産まれてから毎日のように病院に来て、「抱っこしたい〜」と言っていました!!!

『まま げんきなあかちゃんうんでね』

ままとあかちゃんへ  
 お姉ちゃんからの応援メッセージです。  
 右側はハートでつながった  
 ご家族の絵が描かれています。



### 「助産院で出産を!」と検討中の皆さんへメッセージをお願いします!

ぜひたくさんの方々に助産院 Sun でお産をして頂きたいと思っております。産前〜産後まで、おっぱいのトラブルなどなど、助産師さんがすべて親身になって相談のつて下さるので、自分自身も家族も安心して過ごすことができます。助産院 Sun で無事お産できて、とても良かったと思っております。



## センター稼働状況

分娩数	56 件	緊急帝王切開	16 件
母体搬送	3 件	NICU 稼働率	74.7%
新生児搬送	0 件	MFICU 稼働率	95.7%

(平成 27 年 12 月)

## 「ししまいとごあいさつ」



## 編集後記

Happy New Year  
 2016  
 今年のお正月は暖かく過ごしやすい日が続きましたね。周産期センターが開設されて、1 月で 10 周年を迎えることができました。今後ともよろしくお願いたします。  
 (T.O.N.S.M.K.H.)



周産期センター  
 キャラクター  
 マミー&メイ



『待ちにまった妹!!』  
 ことは 木村 琴葉 ちゃん  
 平成 27 年 10 月 20 日 生まれ

## 助産院 Sun スタッフより

「助産院で出産を!」のメッセージをありがとうございます。助産院は、お母様とご家族の協力があつて、はじめてみな様が納得のいくお産ができる所です。お兄ちゃん、お姉ちゃんにかこまれた赤ちゃんは本当に幸せそうでした。いつでも、又お待ちしておりますね。  
 (石田)

